

## 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和5年度

<b>めざす姿</b>	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
<b>施策名</b>	3 活気ある商業の振興
<b>施策関係課</b>	(経済部)産業振興課

<b>●施策の基本方針(目標)</b>	
人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。	

<b>●目標指標</b>							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	63.9(令和2年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	63.300	61.800	64.400	0.000		
指標②	名称	従業者数(卸売業・小売業)				単位	人
	目標値	全国における伸び率を上回る(令和7年度)	現状値	30,842(平成28年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	30,842.000	29,511.000	29,511.000	0.000		
指標③	名称	年間商品販売額				単位	百万円
	目標値	全国における伸び率を上回る	現状値	1,122,968(平成28年度)	指標の種別	成果	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	1,122,968.000	1,015,680.000	1,015,680.000	0.000		
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値		指標の種別		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
	事業費	542,057	570,845	701,664	95,721	95,721
	概算人件費	11,297	12,782	17,538	11,016	11,016
	総事業費	553,354	583,627	719,202	106,737	106,737

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 55	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			55.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名		① にぎわいある商業活動の振興						
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
商店街活性化事業	経済部	95,033	56,469	46,794	88,830	88,830	52	現状維持で実施
	産業振興課	5,293	6,468	5,451	4,941	4,941		
消費拡大事業	経済部	1,558	2,119	333,383	6,891	6,891	56	現状維持で実施
	産業振興課	2,370	2,772	10,270	6,075	6,075		
商品券発行支援事業	経済部	445,466	512,257	321,487	—	—	56	完了
	産業振興課	3,634	3,542	1,817	—	—		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	商店街活性化事業				担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市商店街近代化事業費補助金交付要綱、川口市照明施設維持管理事業補助金交付要綱、川口市空き店舗活用事業補助金交付要綱、川口市商店改修事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人			商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人及び市内商店街の利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	川口市の商業環境は、消費者の生活様式の変化、消費者ニーズの多様化により大変厳しい状況となっている。こうした中、消費者ニーズを的確に捉えた人が集う商業環境づくりが緊急の課題になっているため、地域の特性を活かし人が集える魅力的な商店街活動を支援し、活性化を図る。			・商店街等が実施するソフト事業・ハード事業への補助 ・空き店舗を活用し事業を始める際の改修費への補助 ・商店が店舗改修を行う際の費用への補助 ・商店街等が所有する街路灯等の電気料への補助 ・商店街が実施する美化促進に係る費用への補助 等		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	・商店街等が実施するソフト事業に対して、補助対象経費の30%(一部50%)を補助した。 ・商店街所有の街路灯LED化改修事業に対して、補助対象経費の50%を補助した。			販売促進やイルミネーション事業等の開催や街路灯のLED化などにより、商店街のPRや利便性の向上が図られた。また、改修事業において原材料費高騰の影響を受ける事業者支援として、補助限度額を引き上げ、商店・個店の支援を行った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	商店街コミュニティ活動事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	商店街が実施したイベントや販促事業を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	32.00 未達成		44.00 未達成		51.00 達成				
指標②	名称	商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	年間補助事業件数を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	4.00 達成		3.00 達成		3.00 達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	4細目	4細々目	商店街活性化事業					
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
予算額(A)	146,763	76,335		61,261		88,830		88,830				
決算額(B)=(C)+(D)	95,033	56,469		46,794								
財源※	特定財源(C)	58,755	16,123		982		5,573					
	一般財源(D)	36,278	40,346		45,812		83,257					
概算人件費(E)	5,293	6,468		5,451		4,941		4,941				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.67	0.00	0.84	0.00	0.69	0.00	0.61	0.00	0.61	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	100,326	62,937		52,245		93,771		93,771				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 /60	川口商工会議所・川口市商店街連合会との連携を図りながら、物価高騰における事業者や消費者ニーズ及び商店街を取り巻く環境の変化を踏まえ、より効果的な支援方法も含め、検討して参りたい。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	消費拡大事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内の消費者及び商店事業者	市内の商店事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	「お買い物は 私の街で 川口で」をキャッチコピーに、市民に対して川口市の商業についてアピールすることにより、市内消費活動を促し、市内商業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「お買い物は 私の街で 川口で」のキャッチコピーを記載したフラッグや消費啓発グッズ(ウエットティッシュ・メモ帳・マイクロファイバークロス)を作成する。</li> <li>商店街の催し情報を掲載したポスターを作成する。</li> <li>民間キャッシュレス決済事業者を活用したポイント還元事業を実施することで、地域経済の活性化を図る。</li> </ul>	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内商店街に消費啓発フラッグを配布し、商店街街路灯に掲出したほか、商店街の催し情報などを掲載したポスターを市内施設や市内掲示板、商店街等に掲示した。</li> <li>窓口や各種イベントにて、消費啓発グッズを配布した。</li> <li>QRコード決済のPayPayを活用したポイント還元事業を実施した。</li> </ul>	エネルギー・原材料費高騰により、市内経済は非常に厳しい環境であるが、QRコード決済事業者を活用したポイント還元事業を実施したことにより市内消費が喚起され、商店街イベントの周知を行うことにより、商店街のPRが図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	消費拡大ポスター印刷枚数			指標・目標値の説明(算定式)	市内掲示板や商店街等に掲示する年間印刷枚数(年4回、季節毎に2000枚)				
	単位	枚	指標の種別	活動						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値・達成状況	2,000.00	未達成	4,000.00	未達成	7,000.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	3 細々目	消費拡大事業					
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度					
予算額(A)	2,346	2,489		333,807		6,891	6,891					
決算額(B)=(C)+(D)	1,558	2,119		333,383								
財源※	特定財源(C)	0		330,807		0						
	一般財源(D)	1,558	2,119		2,576	6,891	6,075			6,075		
概算人件費(E)	2,370	2,772		10,270		6,075	6,075					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.36	0.00	1.30	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,928	4,891		343,653		12,966	12,966					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	川口商工会議所・川口市商店街連合会と連携を図りながら、商店街及び事業者並びに消費者に対して有効な事業となるよう実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	商品券発行支援事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-3 活気ある商業の振興-① にぎわいある商業活動の振興						
根拠法令等	川口市プレミアム付き商品券発行支援事業補助金交付要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	加盟店、商品券利用者			加盟店、商品券利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	全ての加盟店で利用可能な共通券と大型店以外で利用可能な専用券をセットで販売し、市内の加盟店で買物をしてもらうことで、市内商業の活性化を図る。			元気川口商品券実行委員会が実施する商品券事業における、プレミアム分、事務経費分、金融機関手数料分に対し、補助金を交付。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	発行総額24億円の商品券事業に対し補助金を交付。令和4年度に販売したプレミアム率30%の専用券と10%の共通券の換金及び事業の効果検証。			プレミアム分を含め、商品券を利用して普段以上の買い物をしていたことで、市内消費を促し、市内商業の活性化が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プレミアム付き商品券販売額			指標・目標値の説明(算定式)	「元気川口商品券」の販売総額				
	単位	千円	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況	2,000,000.00		2,000,000.00		0.00		-		-
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	4 細目	8 細々目	商品券発行支援事業				
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	446,664	863,898		339,890		0		0			
決算額(B)=(C)+(D)	445,466	512,257		321,487							
財源※	特定財源(C)	221,904	263,791		262,030		0		0		
	一般財源(D)	223,562	248,466		59,457		0		0		
概算人件費(E)	3,634	3,542		1,817		0		0			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.46	0.00	0.46	0.00	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	449,100	515,799		323,304		0		0			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	発行団体である川口商工会議所・川口市商店街連合会と連携を図りながら、商品券の電子化による効果等を調査するとともに、市内事業者及び消費者に対して有効な事業となるよう検討を行っていく。		翌年度	完了
			翌々年度	-